



▲達増知事(右側中央)との意見交換会に臨む県職労四役と自治労県本部

岩手県職労

月2回刊=1547号
2019年12月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸九番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

人生予報、晴れたり曇ったり

雨の日だってあるのが人生。仲間同士の助け合いで備えましょ。入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障。5大人病の入院も手厚くカバー。◆お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じちろうの団体生命共済

全労済 自治労共済本部

県職労 達増知事と意見交換

「職員の幸福度向上に努力」決意引き出す

県職労運動に期待示す／意見交換継続を確認

12月17日、県職労は達増知事と意見交換し、任期中における労使の基本姿勢の確認とともに、職員を取り巻く諸課題について改善を要請した。知事は、職員の幸福度向上に向け具体的な施策で確保に努めるとの基本姿勢を示した。併せて意見交換の継続を確認した。

①労使の基本姿勢

職員が働きやすい環境を作り、県民福祉の向上を推進、震災復興や台風災害

対応等に向け、マンパワー確保や勤務意欲の維持向上に努力していくとした。

②職員を取り巻く課題

県民計画の行政経営プランに示された仕事と生活の調和をはかるべく、国への提言を取りまとめ、イクボス知事同盟で6月に共同声明し、地方から日本をリードする姿勢であるとし、県庁は県の職場をリードする姿勢で取り組むとした。人員確保については、社会情勢や行政需要を踏まえた組織体制の見直し、定数

③職員へのメッセージ

職員の幸福度を高めるようとする、県民計画を遂行するためにもすべからず幸福にならなければならないとの理念を示したうえで、具体的な施策で確保するよう努めると決意を示した。

④県職労へのメッセージ

職場改善を通して県民の福祉の推進をはかる視点では共通しているとし、県民計画推進のため、互いに幸福を守り育てる必要があること、職員が前向きに励めるような職場づくりに向け取り組んで欲しいと県職労への期待感を示すとともに、意見交換の継続について確認した。締めくくりとして、大崎中央執行委員長から確認した知事の基本姿勢の具文化と早期改善を要請した。

今後の取り組み

県職労は改めて知事の基本姿勢を確認したうえで、知事発言をもとに、実態を当局に訴えながら、職場環境改善に全力を挙げる。

県職労2019組織集会

新採用職員加入と組織強化に向け意思統一 支部評議会青婦部の活性化で組織拡大を



▲「県職労組織集会」全体集会



▲支部活動強化分科会

12月14日～15日に盛岡市清温荘で開催し、各支部・評議会・青年婦人部など60人が結集した。大崎中央執行委員長から「組織拡大のため、支部・評議会・青婦部強化に向け課題を討

論し、運動につなげよう」とあいさつ。基調講演では三重県職員労働組合・鳥羽中央執行委員長が支部・分会活動や新採用加入促進の取り組みを紹介した。支部・分会活動

マニュアルを整備し、各支部・分会役員交代時にはしっかりと引き継げる体制を構築。さらに、7月に組合員一人ひとりの要求を出し合う「ユーカー要求」に取り組んでいる。この要求は分会長が集約し、各支部で取りまとめ、支部、評議会、本部交渉のそれぞれの局面



▲講演する三重県職労の鳥羽委員長

その後、①支部分会、②評議会、③青婦部の分科会を開催し、課題を討論。全体集約で課題と今後の取り組みに向けて意思統一した。

「加入には職場の組合員からの継続した声掛けが最大の効果。分会に意識的に声掛けする組合員を作る必要があるし、支部でフォローする体制を組む必要がある」、「様々なテーマで学習会や意見交換会を行い、新採用職員との接点を持ち、相談できる組織であると信頼を得る取り組みが必要」、「青婦部としても同年代の声掛けが効果的。交流会などの加入促進を続ける」との意見が挙がった。最後に新採用加入をはじめとした組織拡大強化に向けて全力で取り組むことを意思統一した。

「令」でなく「和」が尊重される政治を求めたい。希望する政治実現のため運動を進めていこう。

今年の漢字は「令」と発表された。今年の最大の出来事を踏まえれば世間一般ではそう受け止めるだろう。ただし新元号の本来の理念とは異なる波乱の一年であったといえる▼度重なる台風災害で岩手をはじめ全国で甚大な被害を受け、今なお多くの住民が復旧に向き合いながら懸命に踏ん張っている。10月の消費税増税で国民生活は一層厳しい状況に陥った。その一方で新次代と吹聴し、「桜」に代表される行政の私物化もたらした現政権が延命し、歴代最長の首相在任を許した。まさに国民の厳しい生活実態と乖離した政治がまかり通る▼「令」は上位下達の象徴。現政権は民主主義の根幹を否定し、異なる意見を聞き、真摯に対応する姿勢すら見せない。職場でも働き方改革が導入されたが、同様に上から目線の働き方改革であり、働く人の視点は乏しい▼「和」をもって貴しとなす「言葉がある。様々な意見を尊重しながらよりよい社会を展望する。そこには基本的な人権が尊重され、かつ「平和」が前提となる。「令」でなく「和」が尊重される政治を求めたい。希望する政治実現のため運動を進めていこう。

第五世代

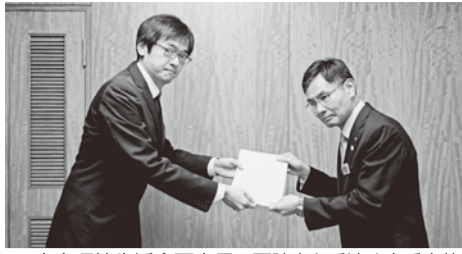
今年の漢字は「令」と発表された。今年の最大の出来事を踏まえれば世間一般ではそう受け止めるだろう。ただし新元号の本来の理念とは異なる波乱の一年であったといえる▼度重なる台風災害で岩手をはじめ全国で甚大な被害を受け、今なお多くの住民が復旧に向き合いながら懸命に踏ん張っている。10月の消費税増税で国民生活は一層厳しい状況に陥った。その一方で新次代と吹聴し、「桜」に代表される行政の私物化もたらした現政権が延命し、歴代最長の首相在任を許した。まさに国民の厳しい生活実態と乖離した政治がまかり通る▼「令」は上位下達の象徴。現政権は民主主義の根幹を否定し、異なる意見を聞き、真摯に対応する姿勢すら見せない。職場でも働き方改革が導入されたが、同様に上から目線の働き方改革であり、働く人の視点は乏しい▼「和」をもって貴しとなす「言葉がある。様々な意見を尊重しながらよりよい社会を展望する。そこには基本的な人権が尊重され、かつ「平和」が前提となる。「令」でなく「和」が尊重される政治を求めたい。希望する政治実現のため運動を進めていこう。

保健所・環境研センター／環境生活企画室交渉

「改善策必要」示すも多くが継続課題に

保健所(環境衛生課)・環境研課題では初交渉

保健所協議会では、各保健所(環境衛生課)・環境保健研究センター・食肉衛生検査所の課題を集約し、環境生活部長あて独自要請書を作成。12月12日に小島



▲小島環境生活企画室長に要請書を手渡す宮手中執



▲専門職配置などを巡りで交渉する保健所協議会

環境生活企画室長に提出し、基本姿勢を質すために交渉を行い、前進回答を求めた。

①専門職配置の考え方

対応可能なものは早期に対処との基本姿勢を示しつつ、薬剤師は定年退職者もおり補充が必要、保健福祉部と連携して人事課に要望中。獣医師は、動物愛護の業務も増加しており、保健所の行政需要に応じて配慮する。食肉衛生検査所は検査体制強化のため定数増を要求中とした。さらに、

総化学職のうち、特に食品衛生監視員資格者が少ないことは課題であるとし、採用時への学生へのアピールを進めるとした。交渉団から、環境保健研究センターの欠員解消、医療ビックデータの対応等の新課題への対応、検査分析業務の信頼性確保の体制強化が必要と訴えた。さらに、薬剤師では健康国保課業務が激務であること、確保が一層困難となっていると訴え、増員に向けて検討を求めた。

②獣医師・薬剤師処遇改善 薬剤師は他県均衡を考慮して必要に応じて検討するとして一方、獣医師は給料の調整額の創設を総務部に要請中とした。交渉団から、薬剤師でも獣医師同様に奨学金への手当創設を求めた。それに対し、若手薬剤師の意見を聞き確保策として適切か研究と応じた。

③保健所・執務環境改善

動物愛護や鳥獣保護の土日・突破業務の増加に対応した対策に関し、動物愛護は保健所だけでは限界があり、関係機関との連携が必要とし、動物愛護センター(仮称)整備により負担軽減が見込まれること、公用車配備も計画的な更新に努めるとした。交渉団から動物愛護センター整備でも全県対応は難しく、一層の負担軽減策が必要と訴えた。

④環境研・執務環境改善

検査機器類の更新・整備に関し、県民の安全確保や緊急性の観点から判断とした。交渉団から新業務・研究に対応した配備を求めた。最後に小島環境生活企画室長から「薬剤師の処遇が最重要課題。全体的な体制検討が必要。その他課題もできるところから改善に取り組む」との姿勢を確認した。今後も課題を集約し、要求・交渉を進めていく。

久慈支部東北広域振興局長交渉 要望事項実現へ前向きに取り組み

南局長「人事当局への上申」等を回答

久慈支部独自の改善に向け全組合員アンケートを実施し、その結果をもとに「支部独自要請書」を作成し、12月12日、南局長及び下山経営企画部長あて要求書提出し交渉を行った。局長交渉では、欠員解消や慢性的な超過勤務解消、赴任旅費負担軽減など要求した。南局長から「適正な人員配置、欠員解消に向け各主管課、人事課に働きか

けるとともに総務部長にも要求をした」、「適正な勤務時間・職場の環境整備にあたり、長時間労働の抑制について、随時各所属長にも意識付けを行っている」、「人事異動に伴う移転料の改善については、昨年度に引き続き人事課に伝えていく」と基本姿勢を引き出した。

経営企画部長交渉では、「庁舎・公舎の環境改善は、



▲南局長に要求書を手渡す佐藤支部長(右)

久慈支部は、今後も組合員の声を大事にし、要求改善へ取り組みを進めていく。

気仙支部定期大会 組織強化と課題解決に全力

気仙支部定期大会が12月4日、大船渡合庁大会議室において開催された。大会冒頭、佐藤支部長から「情勢報告や人勸の継続課題をふまえ、改善に向けて支部として最大限取り組みたい」との決意を述べた。また、来賓の県職労本部小澤書記長から「確立闘争等この間の取組み状況など挨拶。

橋本書記次長から一般経過と中間報告を、加賀書記長から、運動方針、青婦部活動、評協議会活動など組



▲気仙支部定期大会

織強化の取組み方針が提起され、全会一致で決定した。最後に支部長から「支部・分会が一体となり、組合加入促進、組織強化・拡大をはかろう」と団結カンパロで大会を締めくくった。



2019年 写真で振り返る



▲8.25 「野中靖志」新盛岡市議誕生



▲4.27 「第90回県中央メーデー集会」



▲1.10 県庁・盛岡支部合同旗開き



▲11.11 福祉・保健所関係保健福祉企画室交渉



▲9.7 青年婦人部新採歓迎&学習交流会



▲6.7 反核・平和の火リレー知事要請



▲2.23 新採用対策学習会



▲12.17 達増知事との意見交換



▲11.8 総務部長交渉



▲8.21 県庁・盛岡会計年度任用職員制度学習会



▲4.10 新採用職員研修・本部ガイダンス

年末・年始の事故等には十分お気をつけてください。

寒さが厳しい冬期の外出では、路面凍結等もあり、車の運転には十分に気をつけなければなりません。

また、年末・年始の休暇は帰省・旅行・レジャーなど出かける機会が増えたり、雪道に慣れていない県外からの車両が多くなったり、いつにも増して注意が必要です。万が一の事故の際は自治労マイカー共済の緊急連絡先へ！

◆マイカー共済事故受付センター◆
フリーダイヤル 0120-0889-24

◆自治労マイカー共済ロードサービス◆
フリーダイヤル 0120-889-376